



新発田市立七葉中学校学校だより<題名は教育目標より>

磨け自己 高めよ理想

【目指す生徒の姿】 自他の良さに気付き、主体となって取り組む生徒

新発田市立七葉中学校

新発田市上館乙 84-2

電話 0254-22-3524

令和5年7月27日号

「道を聞く人は迷わない」

令和5年7月27日 終業式校長講話より

通勤途中のラジオから流れるデンカ株式会社（デンカビッグスワンスタジアムのデンカです）のコメントで、「道を聞く人は、迷わない」というフィンランドのことわざが紹介されていました。皆さんはこの言葉を聞いてどう思いますか？私は最初「当たり前のことを言っているな」と思いました。しかし、そのあとに続く「先が見えなくなったとき まわりの人が、あなたの道標となる 誰かを頼る小さな勇気が 行き先を照らしてくれるはず」と続くナレーションを聞いて考えを改めました。毎日の生活で道に迷って迷子になることは、ほとんどありません。でも、「道」を「困ったこと」に変えたらどうでしょうか。終業式にあたって、「困ったらどうしたら良いか？」について私の考えを話します。

私が考える方法は2つです。1つ目は「一人で悩んだり、調べたりする」、2つ目は「人に相談したり、尋ねたりする」です。私は校長になりましたが、学校以外では困ったときに人に相談したり、尋ねたりすることがとても苦手です。どちらかと言えば、一人で悩んだり、調べたりして困ったことの解決策を探すほうが自分に合っていると思います。理由は「人に聞くことが恥ずかしい」と感じているからです。

「恥ずかしい」の中には「人に声を掛けることが苦手」と「そんなことで悩んでいると思われるのかっこ悪い」2つの気持ちが入り混じっています。また「こんな相談したら相手に迷惑をかけてしまうかな」と思ったりします。きっと私と同じように感じている人もいます。でも学校（職場）では、尋ねたり、相談したりしています。理由は2つあります。1つ目は、「聞く恥ずかしさ」や「相手に迷惑をかけてしまう」よりも、「分からないままでいて仕事が進まない」ことの方が困るし、「仕事が進まないこと」の方が周りに迷惑をかけるからです。2つ目は、私を助けてくれる先生方がいるから安心して相談したり、尋ねたりできるのだと思います。どちらかの方法にしなければならないことはないのです、私は2つの方法を使い分けています。

内閣府が行った「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年）」によると、「悩みや心配ごとがあった場合、誰に相談したいと思いますか」の質問で、欧米諸国に比べて「日本は誰にも相談しない割合が高い」と結果が出ています。このことから「日本の子ども・若者は自分から助けを求めない」傾向が強いと言われています。「ちょっと困っているのだけど、どうしたらいい？」と皆さんは友達や家族、近くの大人に言えますか。私は何か困ったら、ぜひこの言葉を言ってほしいと思います

次に友達から、「ちょっと困っているのだけど、どうしたらいい？」と言われたらどうしますか？あなたのことを信頼して、勇気を振り絞って話しかけてきたのかもしれない。だから真剣に受け止めてほしいです。やさしく「どうしたの」と返事をして話を聴いてほしいです。相談の内容にすぐに答えられるかもしれないし、答えられないかもしれません。答えられない時は、近くの大人や相談機関に相談することを進めてください。もちろん先生も含めてです。

いよいよ夏休みが始まります。楽しいことだけの夏休みなら最高です。でも何か困ったらこの言葉を思い出してください。

人生という道は、迷いやすい。
地図もGPSも、そこにはない。

フィンランドに、こんなことわざがある。
「道を聞く人は、迷わない」

先が見えなくなったとき
まわりの人が、あなたの道標となる。
誰かを頼る小さな勇気が
行き先を照らしてくれるはず。



デンカ株式会社様のご厚意で、学校だよりに掲載させていただきました。

「デンカ ラジオ CM」で検索するとホームページに素敵な言葉がたくさん紹介されています。